

2026（令和8）年度
東北大学法科大学院入学試験 一般選抜（後期）
試験科目：民事法（商法）

第1問

株式会社（取締役会設置会社）A社の代表取締役Bが、個人的な借金の返済に充てる目的で、会社名義でC銀行から金銭を借用する金銭消費貸借契約を締結した場合、このAC間金銭消費貸借契約の効力がどうなるかについて、簡潔に（5行程度）検討しなさい。

第2問

取締役会の設置されていない株式会社において、定時株主総会が開催されたが、この株主総会の招集通知には、計算書類の承認及び利益処分のみが議題として記載されていた。ところが、株主総会の当日、取締役兼株主の一人Aから、別の取締役兼株主であるBを取締役から解任する旨の議案が提出され、賛成多数で可決された。このBの取締役解任決議の効力について、簡潔に（5行程度）検討しなさい。

第3問

株式会社の会社分割が行われる際に、分割後も分割会社の債権者であり続ける分割会社の債権者（残存債権者）が、債権者異議手続の対象となるかどうかについて、簡潔に（5行程度）説明しなさい。

第4問

株式会社の取締役に対し、一定額の報酬を支払う旨の株主総会決議がなされた後、2か月ほどして、当該取締役と他の取締役らが仲違いしたため、他の取締役らが当該取締役の出勤を禁止し、出勤していないことを理由に報酬の支払いを停止した。当該取締役が、会社に対し、報酬残額の支払いを請求できるかどうかについて、簡潔に（5行程度）検討しなさい。

第5問

公開会社ではない株式会社において、株主総会特別決議なしに株主割当ではない形で新株発行がなされた場合、当該新株発行の効力について、簡潔に（5行程度）検討しなさい。